

Web3.0 技術を活用した第一次産業支援事業の開始について

～石垣牛を起点に、日本の全一次産業への展開を見据えた取組み～

化粧品やアロマ商品を展開する株式会社フォーシーズHD(所在地:福岡市中央区、代表取締役社長:寺田智美、東証スタンダード市場 証券コード:3726、以下「フォーシーズHD」)は、新たな事業としてWeb3.0への取組みを開始しております。今回フォーシーズHD、DENBA JAPAN株式会社(東京都中央区、代表取締役:後藤錦隆以下「DENBA JAPAN」)、および農業生産法人有限会社ゆいまー牧場(沖縄県石垣市、代表取締役:金城輝美、以下「ゆいまー牧場」)は、Web3.0技術を活用した第一次産業支援事業において業務提携することで合意いたしましたので、お知らせいたします。

本提携は、まずは石垣牛のブランド化と生産支援モデルの確立を起点とし、Web3.0のノウハウや技術を活用することで、現在第一次産業が抱える様々な課題を解決するためのプロジェクトです。本プロジェクトは、石垣牛だけではなく畜産業全般、さらには農業・水産業・林業を含むあらゆる第一次産業へと展開していくことを目指しており、日本の第一次産業全体の構造改革を見据えた取り組みとして推進してまいります。



1. 本提携の背景と目的

当社は、創業以来「美と健康」を追求し、生活に寄り添う癒しの価値を提供するとともに、昨今では、再生可能エネルギー事業やWeb3.0に関連する事業を通じて、多様な価値観が交錯する現代社会における様々な「悩み」を解決することを目的とした事業を幅広く展開しております。そのような中で、DENBA JAPANとは2024年11月に資本業務提携を行い、様々な領域におけるパートナーとして新たな事業領域の創出と価値提供の拡大を図っております。今回は、DENBA JAPANの水分子にアプローチすることで実現できる鮮度保持に関する特許技術と、当社が現在、注力しているWeb3.0技術を活用した事業展開において、その双方が日本の第一次産業の支援や活性化に繋がるのではないかと発想から生まれた新たなプロジェクトとなります。

日本の第一次産業(農業・畜産・水産・林業)は、担い手不足や就業人口の高齢化、農地の集約化の遅れ、耕作放棄地の増加など、構造的な課題を抱えています。また、生産コストの上昇や国際競争の激化、気候変動の影響による生産量・品質の変動なども深刻化しており、産業全体の持続可能性が問われています。

さらに、デジタル技術の導入やスマート化が進む一方で、現場への実装や人材育成が追いつかないという課題も指摘されています。これらの要因が重なり、日本の食料自給力や地域経済の安定にも影響を及ぼしています。これらの課題は、畜産業・農業・水産業・林業を問わず、第一次産業全体に共通する構造的な問題であり、抜本的な解決策が求められています。

この度、当社とDENBAJAPAN、石垣牛のブランド化に尽力されてきたゆいまー牧場との三社にて、第一次産業を支援するためのプロジェクトをスタートさせることにいたしました。石垣牛は、沖縄県・八重山地域にて厳格な肥育基準を満たして育てられる黒毛和種(または交雑牛)です。限られた生産量ゆえの希少性、そして豊かな飼育環境に根ざした風味・脂質のきめ細かさが評価され、現在では国内の高級レストランや贈答用途においてプレミアム肉としての地位を確立しています。

本プロジェクトには、長年石垣牛のみにとどまらず様々な第一次産業のブランド化などのサポートをしてきたゆいまー牧場の金城利憲氏がプロジェクトメンバーに加わり、DENBA JAPAN独自の水分子活性化技術「DENBA+」と掛け合わせることで、更なる石垣牛のブランド化と生産支援のモデルを確立、ブロックチェーン技術を活用することでトレーサビリティを徹底し消費者に安全・安心な商品を提供することにより、ブランド価値向上に寄与できると考えており、さらには独自トークンの発行、販売、運営等による第一次産業による新たな経済圏の確立をも目指して参ります。

■金城利憲氏プロフィール

ゆいまー牧場(石垣島)創業者・会長。約25年前に石垣島でゆいまー牧場を設立し、石垣牛ブランドの確立に尽力。繁殖から肥育、出荷まで一貫生産体制を構築し、高品質な石垣牛の安定供給を実現されております。焼肉店「石垣牛専門 焼肉 金城」も展開し、生産から消費までの6次産業化モデルを実践。その成功体験は、あらゆる一次産業のモデルケースとして高い応用可能性を持たれております。

2. 本事業の内容について

ゆいまー牧場における石垣牛の取組みについては以下のとおりです。

◆石垣牛をモデルとした実証の位置づけ

本実証の対象として石垣牛を選定したのは、同ブランドが第一次産業支援モデルの確立に最適な条件を備えているためです。

石垣牛は、既に市場で高い評価を得ている確立されたブランド価値を有しており、繁殖から出荷までを一貫して管理する生産体制を構築しています。このため、データ収集や飼育管理のデジタル化が容易であり、実証モデルとしての再現性が高い点が特徴です。また、高付加価値産品としてプレミアム市場での競争力を持ち、他産業への展開にあたって説得力のある成果が期待されます。さらに、25年にわたり石垣牛のブランド発展に携わってきた金城氏の豊富な経験とノウハウが、本モデルの実効性を支える重要な要素となります。

これらの強みを基盤として、以下の3つの取り組みを推進します。

(1) Web3.0技術を活用した資金調達支援

- ブロックチェーン技術を用いた新たな資金調達プラットフォームの構築
- 生産者と消費者・投資家を直接つなぐ透明性の高いエコシステムの実現
- トークンエコノミーを活用した持続可能な資金循環モデルの確立
→ 他の一次産業にも適用可能な汎用プラットフォームとして設計

(2) DENBA技術×飼育ノウハウによるブランド価値の最大化

- 金城氏の長年培った飼育技術とDENBA+設備を組み合わせた最高品質の石垣牛生産
- 肉質向上、熟成管理の最適化による付加価値の創出
- データに基づく科学的な品質管理体制の構築
→ DENBA技術の農産物・水産物への応用可能性を検証

(3) ブランドノウハウの保護と適正な技術移転の仕組み構築

- ブロックチェーン技術による飼育データ・ノウハウの管理と保護
- 日本の財産ともいえるブランド生産技術の不正流出防止
- 適正な技術移転・ライセンス管理による国内産業の保護と発展
→ あらゆる一次産業の知的財産保護に適用可能なフレームワークの確立

3. 本事業における各社の役割と特徴

本事業における各社の役割は以下となります。

【株式会社フォーシーズHD】



- ✓ Web3.0 事業基盤の提供とブロックチェーン技術の活用
- ✓ 全一次産業に適用可能な汎用資金調達プラットフォームの構築
- ✓ デジタル資産管理システムの開発
- ✓ プラットフォーム運営およびマーケティング戦略の立案
- ✓ 全国規模でのネットワーク展開とエコシステム構築

【DENBAJAPAN株式会社】



- ✓ 独自技術「DENBA+（水分子活性化技術）」の提供
- ✓ 畜産・農業・水産業すべての分野における品質向上技術の開発
- ✓ 鮮度保持・熟成管理・輸送技術の最適化
- ✓ 設備導入および運用ノウハウの提供
- ✓ 各産業分野に特化したDENBA技術のカスタマイズ

【農業生産法人有限会社ゆいまー牧場】



- ✓ 石垣牛一貫生産体制（繁殖から出荷まで）のノウハウ提供
- ✓ 第一次産業の成功モデルとしての実践知の提供
- ✓ ブランド構築・6次産業化の経験と知見の共有
- ✓ 生産現場における実証実験フィールドの提供
- ✓ 他の一次産業生産者への指導・助言

4. 今後の展開：全一次産業への段階的ロードマップ

本提携では、石垣牛を起点に段階的な産業展開を計画しており、最終的には日本の一次産業全体の構造改革を目指してまいります。

フェーズ1：石垣牛モデルの実証・構築

まず、沖縄県石垣市を拠点に「石垣牛」を対象とした実証プロジェクトを開始します。

- 石垣牛を活用した生産支援・ブランド化モデルの構築
- Web3.0プラットフォームのプロトタイプ開発
- DENBA設備の導入および効果検証
- 生産者への資金循環を促す資金調達モデルの実証
- 成功事例の創出とノウハウの体系化

これらを通じ、データに基づいた持続可能な生産支援モデルを確立し、「石垣牛モデル」として完成を目指します。

フェーズ2：畜産業全般への展開

石垣牛で確立したモデルを他の畜産分野へと拡大します。

- 松阪牛・神戸牛などのブランド和牛への展開
- 豚・鶏・酪農分野への適用
- 全国の畜産生産者ネットワーク構築
- 成功事例の蓄積と共有を通じた産業全体の底上げ

フェーズ3：全一次産業への展開

畜産業で得た知見とモデルを、農業・水産業・林業など他分野へと横展開します。

農業分野

- 高級果実・ブランド米などへの展開

- 有機農産物や伝統野菜のブランド化支援
- 生産者への資金調達支援の本格化

水産業分野

- 養殖業(マグロ・ブリ等)への適用
- 水産加工品のブランド化・輸出促進
- 鮮度保持技術を活用した国際競争力の強化

林業・その他分野

- 高級木材のトレーサビリティ確保
- 特産林産物のブランド化支援
- 異業種連携による総合的な一次産業支援の実現

本提携は、各社の強みを結集し、石垣牛という成功モデルを確立した上で、そのノウハウを日本の全一次産業に展開可能なプラットフォームとして昇華させることを目指します。なお、本取り組みによる当社の連結業績に与える影響は軽微です。

【株式会社フォーシーズHD 会社概要】

会 社 名:株式会社フォーシーズHD

代 表 者:代表取締役社長 寺田 智美

本社所在地:福岡市中央区薬院1-1-1 薬院ビジネスガーデン8F

設 立:2003年12月

上 場 市 場:東証スタンダード 証券コード 3726

事 業 内 容:化粧品・美容雑貨・アロマ関連商品企画・製造販売業・Eコマース事業・店舗運営
・再生可能エネルギー事業・グループ会社の経営管理

URL :<https://www.4cs-holdings.co.jp/>

<取扱いブランド>

FAVORINA、FINE VISUAL、ANYTHING WHITE <https://www.favorina.com/>

Cure <http://cure-skin.jp/>

AROMA BLOOM <https://www.aromabloom.jp/>

<本リリースに関するお問い合わせ>

株式会社フォーシーズHD コーポレート推進部

Email : ir@4cs-holdings.co.jp TEL : 092-720-5460